

ひとくどり 人來鳥



大野町立中小学校
コミュニティ・スクールだより
第22号
令和3年9月10日

うぐいすの別名：地域の皆さんが地域の学校に集い共に子どもたちを育てていく願いを込めて

今年の運動会は「仲間と創る 授業運動会」

～ 現在の状況に対応し 工夫して実施します ～

今年度の運動会を9月25日(土)に実施予定でしたが、このほど9月30日までの緊急事態宣言延長が決まり、先だってお知らせしましたように、従来の学校行事として実施することはできなくなりました。それでも、私たちは「感染リスクをできる限り低減化すること、子どもたちの健やかな学びを保障すること」を求めて、今年ならではのやり方で取組を進めていきます。運動会を行事として行わない方法として、次のように計画しています。

- 平日授業の一環とする 学年部ごとに競技・演技を行います。全校一斉の活動はしません。午前3時間授業とします。家族の方の参観はありません。
- 係活動で役割を果たす 高学年児童は各係の仕事を分担して行い、活躍の場があります。
- 児童が互いに見合う 十分な距離を取り、他学年の頑張りを見て拍手で応援します。

具体的に例を挙げると… **9月27日(月)実施予定**

- ・開閉会式は、リモートで各教室をつないで行います。
- ・各学年部ごとに授業1コマで行い、拍手によるエール、準備体操から始め、個人走・団体競技・団体演技、整理体操で終わります。
- ・選手リレーは翌日に行い、その後閉会式とします。得点発表もします。
- ・児童が競技や演技をし、児童が運営や進行を担当し、児童が応援や認め合いをします。



保護者・地域の皆様に多数ご参観いただいていた従来の学校行事としての運動会とは違う形となりますが、教育的意義の大きな取組ですので、でき得る限り工夫を凝らし、子どもたちの学び成長する機会を充実させていきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

奉仕作業へのご参加・ご協力ありがとうございました

8月1日(日)7:00より、PTA主催の奉仕作業を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に続いて保護者の方のみで、密集を避けて短時間で実施しました。今年度も「運動会に向けて子どもたちが気持ちよく活動できるように」との思いから、中止ではなく対策を講じて実施しようと、PTA役員の皆さんが準備を進めてくださいました。



当日は、100名程の保護者の皆様にご参加・ご協力いただき、運動場の草取りや側溝掃除に手際よく取り組んでいただきました。ありがとうございました。「子どもたちのために」その思いで環境整備や日々の健康管理に努めていただき、感謝申し上げます。



・・・大野あけぼのミュージアムへ研修に行ってきました・・・

大野町の埋蔵文化財は興味深い

コロナ禍において大野町の明るい話題と言えば、6月1日に大野町埋蔵文化財センター（愛称：大野あけぼのミュージアム）が開館したことが挙げられます。私たち教職員は、夏休み中に施設を見学し、研修する機会をいただきました。今後、ふるさと学習の一環として学校から児童が見学することも計画していきますが、ご家族で来館することもできますので、保護者・地域の皆様にもこの紙面上で、見所の一端をご紹介しますと思います。
*残念ながら現在は緊急事態宣言下のため、休館中です。



稲富(北小学校近く)にあります

このたびオープンした「あけぼのミュージアム」は、町内の遺跡から出土した貴重な遺物を展示・収蔵する施設であるとともに、大野町の歴史を調査・研究する拠点施設で、縄文時代から中世までの歴史を学ぶことができます。町の埋蔵文化財を特徴づける「古墳」と「条里」をテーマに、実物展示のほか、模型や映像等で分かりやすく学べるようになっており、郷土の歴史に親しみ、郷土への誇りや愛着を育むきっかけとなることが期待されます。

見所①国指定史跡「野古墳群」

大野町の古墳は消滅したものを含めて350以上あり、古墳時代前・中・後期全ての時期の古墳が所在するのは珍しく、特に野古墳群には前方後円墳を含む17基が密集する貴重な史跡です。野古墳群の立体模型には、昭和39年と平成29年の空撮写真が交互に投影され（プロジェクトマッピング）、全体像と変容がよく分かります。古墳調査を進めた考古学者小川栄一氏は大衣斐生まれの方です。

見所②国指定重要文化財「鍔金獣帯鏡」

野古墳群の南出口古墳から発見された鍔金鏡（金メッキされた鏡）は大変珍しく、国内では3面しかないその内の一つで、四神獣（青龍・朱雀・白虎・玄武）が線彫りされ、漢文の文字が刻まれています。現在は東京の五島美術館に所蔵されており、ここには複製品が展示されています。



見所③町指定史跡「条里跡」



条里について説明看板もあります

条里とは、古代から中世にかけて、1町（約109m）四方の碁盤目状に区画された土地制度で、大野町平野部にはまとまった形で広く残されています。「条」は北から「里」は西から数え、町には今も「五之里」「六里」等の地名が残ります。条里地割が分かる昭和42年の空撮写真と現在の都市計画図を重ねた展示があります。

12条6里の基点にあたる場所（小衣斐）に条里公園があります。区画の坪境であった水路を再現井溝とし、条里を視覚的に感じることができる公園です。

ミュージアム見学後に現地を訪れると、今まで気付かなかった魅力を再発見できそうです。